



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月29日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6794 URL https://www.foster.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長C00 (氏名) 成川 敦  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	39,528	△28.5	△688	—	△488	—	△829	—
2020年3月期第2四半期	55,277	△19.6	1,594	△17.7	1,668	△24.1	2,090	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,505百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 739百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△36.55	—
2020年3月期第2四半期	92.48	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	75,556	57,015	68.9	2,292.82
2020年3月期	80,825	58,995	66.5	2,369.46

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 52,036百万円 2020年3月期 53,771百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	15.00	35.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 2020年3月期第2四半期末配当の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000～ 90,000	△25.4～ △16.1	500～ 1,000	△75.7～ △51.5	500～ 1,000	△80.7～ △61.5	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(注) 親会社株主に帰属する当期純利益については、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、現時点においても合理的に算定することが困難なため、未定とします。今後合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	26,000,000株	2020年3月期	26,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,304,447株	2020年3月期	3,306,288株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	22,693,965株	2020年3月期2Q	22,607,258株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から世界経済が大きく混乱しました。緩やかに持ち直しつつありますが、感染再拡大への懸念から景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが属する電子部品業界では、電子化への進展から自動車関連部品が中長期的に市場をけん引すると期待されていますが、当第2四半期連結累計期間はコロナ禍での景気の悪化により部品需要が低迷しました。

こうした中、当社グループは、厳しい市場環境に対処すべく、受注・生産体制の確保はもとより、経費削減、設備投資の凍結、業務の合理化等、企業体質の強化を図ってきました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は39,528百万円(前年同期比28.5%減)、営業損失は688百万円(前年同期は営業利益1,594百万円)、経常損失は488百万円(前年同期は経常利益1,668百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は829百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,090百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### [スピーカ事業]

第1四半期では、コロナ禍により自動車販売が急減し、車載用スピーカ・スピーカシステムの出荷・販売が減少しました。第2四半期に入り回復基調にあるものの本格回復には至りませんでした。その結果、売上高が23,892百万円(前年同期比26.8%減)、営業損失が584百万円(前年同期は営業利益1,754百万円)となりました。

#### [モバイルオーディオ事業]

主要顧客向けヘッドセットの販売数量が引き続き減少したことから、売上高が12,593百万円(前年同期比35.8%減)となりました。営業利益は、これまで進めてきた合理化策の効果から5百万円(前年同期は営業損失170百万円)となりました。

#### [その他事業]

小型音響部品事業や「フォステクス」ブランドの製品を含むその他の売上高は、3,176百万円(前年同期比2.2%増)となりました。一方、営業損益は、コロナ禍により振動系部品の受注が減少したことから109百万円(前年同期は営業利益10百万円)の損失となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に棚卸資産の減少により前連結会計年度末に比べ5,269百万円減少し、75,556百万円となりました。負債は、主に借入金の減少により前連結会計年度末に比べ3,289百万円減少し、18,540百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金の減少により前連結会計年度末に比べ1,980百万円減少し、57,015百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比2.4ポイント増の68.9%となりました。

#### (キャッシュ・フローについて)

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより21,539百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,391百万円減少しました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、棚卸資産の減少等により1,317百万円となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により1,597百万円となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済等により1,695百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、通期業績予想(レンジ表記)の変更はありません。なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、現時点においても、今後の合理化策の実施状況等により大きく変動する可能性があるため、未定としています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,770	21,401
受取手形及び売掛金	14,852	15,800
電子記録債権	293	218
有価証券	10,098	1,341
製品	11,856	9,845
原材料	4,342	3,505
仕掛品	1,293	1,099
貯蔵品	131	129
未収入金	921	579
その他	1,424	1,501
貸倒引当金	△31	△28
流動資産合計	59,952	55,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,127	7,787
機械装置及び運搬具(純額)	5,382	4,825
工具、器具及び備品(純額)	1,787	1,769
土地	1,435	1,401
建設仮勘定	1,247	1,528
有形固定資産合計	17,980	17,312
無形固定資産		
ソフトウェア	98	85
その他	118	112
無形固定資産合計	217	198
投資その他の資産		
投資有価証券	1,297	1,366
長期前払費用	112	100
退職給付に係る資産	715	655
繰延税金資産	263	279
その他	286	246
投資その他の資産合計	2,675	2,649
固定資産合計	20,872	20,160
資産合計	80,825	75,556

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,390	6,296
短期借入金	2,138	2,108
1年内返済予定の長期借入金	1,766	1,561
未払金	2,782	2,341
未払法人税等	646	331
未払費用	1,739	1,451
賞与引当金	549	697
その他	770	834
流動負債合計	17,783	15,623
固定負債		
長期借入金	2,637	1,606
繰延税金負債	633	521
退職給付に係る負債	63	63
役員退職慰労引当金	16	15
株式給付引当金	121	130
資産除去債務	249	251
その他	323	328
固定負債合計	4,047	2,916
負債合計	21,830	18,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	7,957	7,957
利益剰余金	45,696	44,524
自己株式	△5,089	△5,083
株主資本合計	55,335	54,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	199
為替換算調整勘定	△1,281	△1,883
退職給付に係る調整累計額	△409	△448
その他の包括利益累計額合計	△1,563	△2,132
非支配株主持分	5,224	4,978
純資産合計	58,995	57,015
負債純資産合計	80,825	75,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	55,277	39,528
売上原価	47,473	35,076
売上総利益	7,804	4,452
販売費及び一般管理費	6,209	5,141
営業利益又は営業損失(△)	1,594	△688
営業外収益		
受取利息	167	77
受取配当金	18	12
為替差益	—	106
雑収入	287	185
営業外収益合計	473	380
営業外費用		
支払利息	73	41
為替差損	223	—
雑損失	102	138
営業外費用合計	399	180
経常利益又は経常損失(△)	1,668	△488
特別利益		
固定資産売却益	2,706	—
国庫補助金	295	—
特別利益合計	3,001	—
特別損失		
減損損失	663	—
特別退職金	616	100
特別損失合計	1,280	100
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,390	△588
法人税、住民税及び事業税	964	207
法人税等調整額	18	△35
法人税等合計	983	172
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,406	△760
非支配株主に帰属する四半期純利益	316	68
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,090	△829

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,406	△760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	72
為替換算調整勘定	△1,825	△734
退職給付に係る調整額	200	△83
その他の包括利益合計	△1,666	△745
四半期包括利益	739	△1,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	588	△1,398
非支配株主に係る四半期包括利益	151	△107



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,390	△588
減価償却費	1,576	1,560
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△23	54
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	123	0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	128	144
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,706	—
補助金収入	△295	—
減損損失	663	—
特別退職金	616	100
受取利息及び受取配当金	△185	△89
支払利息	73	41
為替差損益(△は益)	△19	26
売上債権の増減額(△は増加)	△608	△839
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,615	2,982
仕入債務の増減額(△は減少)	51	△1,031
未収入金の増減額(△は増加)	△47	333
未払金の増減額(△は減少)	△189	△330
その他	△1,084	△408
小計	4,086	1,952
利息及び配当金の受取額	185	89
利息の支払額	△73	△41
補助金の受取額	295	—
特別退職金の支払額	△616	△100
法人税等の支払額	△628	△582
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,248	1,317
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△658	△761
有価証券の償還による収入	885	458
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,884	△1,256
有形固定資産の売却による収入	2,595	—
無形固定資産の取得による支出	△10	△6
定期預金の増減額(△は増加)	239	—
長期前払費用の取得による支出	△20	△26
その他	25	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,172	△1,597

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△221	16
長期借入金の返済による支出	△2,720	△1,210
配当金の支払額	△227	△342
非支配株主への配当金の支払額	△148	△159
自己株式の取得による支出	△0	—
その他	△13	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,331	△1,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△498	△415
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	590	△2,391
現金及び現金同等物の期首残高	21,524	23,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,114	21,539

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	32,631	19,603	3,043	55,277	—	55,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	64	64	△64	—
計	32,631	19,603	3,107	55,341	△64	55,277
セグメント利益又は損失 (△)	1,754	△170	10	1,594	△0	1,594

(注)1 セグメントの調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「スピーカ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を487百万円計上しています。

「その他事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を175百万円計上しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	23,892	12,593	3,042	39,528	—	39,528
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	133	133	△133	—
計	23,892	12,593	3,176	39,662	△133	39,528
セグメント利益又は損失 (△)	△584	5	△109	△688	△0	△688

(注)1 セグメントの調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。